

子どもデジタルアーキビスト講座 の取り組み

常磐大学総合政策学部
塩雅之 町英朋 坂井知志



はじめに

「子どもデジタルアーキビスト養成講座」

- 茨城県水戸市、茨城県高萩市、島根県大田市の3箇所で実施
- 日本デジタルアーキビスト資格認定機構東日本支部が主催
- 平成29年度子どもゆめ基金助成「子どもデジタルアーキビスト養成事業」

背景

- スマートフォンを含めたデジタルカメラの普及によりデジタル撮影が容易に
- ただ記録しただけでは、探せない／権利処理できないなど使えない可能性
 - 東日本大震災アーカイブの作成にはメタデータ作成、権利処理に多大な労力が必要だった
 - 東日本大震災では、日常的な街並みや風習の記録が非常に貴重な資料となった
- 「知的財産推進計画2017」でも人材育成
→ 一般市民も「利用可能な記録を残す」役割

現在

- 資格養成
 - 上級デジタルアーキビスト： 大学院
 - デジタルアーキビスト： 大学
 - 准デジタルアーキビスト： 高校生
 - デジタルアーカイブクリエイター： 社会人
- 小中学生の養成については単発的

→ 小中学生向け養成カリキュラムの必要性

研究の目的と方法

- 小学生（5・6年）、中学生を対象とした「子どもデジタルアーキビスト」の養成カリキュラム開発
 - 細かな知識を身につけることよりも、興味・関心を引出し、将来的な記録活動につなげたい
 - 3会場で日程と一部内容を変えて実施
 - 実施後のアンケート
- 問題点や適切なカリキュラムを明らかに

養成カリキュラム（共通）

- 講義
 - デジタルアーカイブとは何か
 - 地域文化の記録の重要性
 - メタデータの必要性
 - 権利処理の必要性
 - アーカイブの活用（触れる資料）
- 演習
 - デジタルカメラの撮影
 - デジタルデータを使った作品の作成
（会場ごとにテーマと作品の内容は異なる）

茨城県水戸市

会場： 見和図書館

日程： 土曜午前中（2 h）
× 4 回

1. 撮影演習（2 h）
2. 講義①（2 h）
3. 講義②（1 h）
4. メタデータ演習（1 h）
5. PowerPoint資料の作成（2 h）

テーマ： 図書館を記録する

参加者： 中学生 2 名

演習内容：

- 図書館内を個人ごと自由に撮影
- 図書館の修復の実演を動画と静止画で撮影
- 図書館コンシェルジュのインタビューを動画撮影
- メタデータ演習
- PowerPoint資料にまとめる

茨城県高萩市

会場：高萩市中央公民館

日程：土曜（5 h）

+ 日曜（2 h）

1. 撮影演習（1 h）
2. 講義①（1 h）
3. 講義②（1 h）
4. PowerPoint資料の作成・発表（4 h）

テーマ：高萩の昔話

参加者：小学生 11名

中学生 8名

演習内容：

- 昔話の朗読を撮影
- グループごとに子どもたちで物語をまとめる。アレンジも可
- 挿絵を手書きし、デジタルカメラで撮影して取込
- PowerPoint資料に文字と写真をいれる
- 物語を子どもたちが読み上げてPowerPointで録音

島根県大田市

会場：大田市市民センター

日程：土曜（3.5h）

+ 一月後の土曜（3.5h）

1. 講義（2h）
2. 撮影演習（1.5h）
3. Premiere動画の作成・発表（3.5h）

テーマ：身近にある残したいもの

参加者：小学生4名・中学生4名→小学生2名

演習内容：

- 撮影技法
- 講座の間に各自が身近なものを撮影してくる
- 撮影したデータをPCに取り込
- 静止画を順にめくる形の動画をPremiereで作成
- 説明の字幕と音楽を挿入

計画段階における問題点

- 環境の統一
 - PCの台数の確保 → レンタル機材の必要性
 - ネットワークの有無、十分な速度か
- 撮影を外でできるか
 - 移動費用や保険の問題
- 作品の利用
 - 協力団体は作品を公開したい
 - 保護者に権利許諾を求める必要

実施結果①

- 日程について
 - 1日に長時間やるのは小学生にきつい?
 - 演習（グループワーク）は長時間でも平気
 - 日数を多くすると参加しづらくなる
 - 全ての日に参加できないダメかという問い合わせ
 - 全体が長いという意見あり
- 参加者が少ない
 - 「デジタルアーカイブ」の認知度が低い
 - アーカイブテーマを魅力的にし、前面に

実施結果②

- 講義について
 - 理解力は小学生と中学生の差が大きい
 - 講義は難しい・つまらないという意見
 - 講義 1 コマは短く、演習をはさむ
 - 講義の量を減らし、演習を増やす
 - 講義を楽しくする工夫

実施結果③

- 演習について
 - 情報リテラシーの個人差。PowerPoint・タブレットを使いこなす、ペイントで絵を描く
 - 子どもが興味関心を持つテーマが良い
 - グループでやるべきことを与えるだけで、自発的に役割分担をして作業
 - 演習（グループワーク、PC操作）は楽しい

実施結果 感想から

- 今後何かをデジタルアーカイブしたい？
5段階評価 平均 4.52
- PowerPointが勉強になったという意見が多い

まとめ

- 子どもデジタルアーキビスト養成講座のカリキュラムを開発し、3箇所を実施した
- 子どもの興味関心を引く演習内容が重要
- 講義の改善（難易度・時間）が必要
- 演習は長時間でも集中できる
- 日程は2日間が良い